



# 二 中 だ よ り



第25号 2024（令和6）年10月4日 発行責任者 加賀谷 登

## おススメの一冊！

今回は、3年2組担任森雄一先生のおススメの一冊を紹介いたします。みなさんも1回は読んだことがあるかもしれませんね。

著作名：『蜘蛛の糸』 著作者：芥川龍之介

「想像力の芽生え」

森 雄一

国語には答えがないものがあります。初めてそう感じたのが、小学生のときに読んだ、芥川龍之介の『蜘蛛の糸』です。

カンダタという罪人が地獄で釜ゆでになっているときに、天国にいるお釈迦様が、蜘蛛の糸を垂らして助けようとするという有名な作品です。糸をよじ登っていたカンダタでしたが、途中で糸が切れてしまい、結局また地獄へと落ちてしまいます。ここで、当時の小学校の先生からこんな質問が出ました。

「糸が切れたのはなぜでしょう。また、糸を切ったのは誰でしょう？」

道徳的な価値も含まれている質問でもありますが、当時小学生の私は答えがすぐに出ませんでした。しかし、気がつけば必死に「なぜ」を考え、その過程を楽しんでいる自分がいました。

児童にも読めるくらい短い話なので、まだ読んでいない人は、是非読んで、みなさんの考えた答えを是非私に教えてほしいと思います。

## 「すごい！」で終わらせない！そこから学ぶことがある！ 10月4日（金）全校集会の校長講話より

「すごい！」で終わらせない！そこから学ぶことがある！という話をします。

ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手、今年も素晴らしい活躍でした。ホームラン王・打点王の2冠を獲得し、三冠王を獲得するのではと最終戦までドキドキさせてくれました。そのほかにも、ホームラン54本・盗塁59個等、メジャーリーグでも初めて達成した記録やイチロー選手を抜いた記録などもあります。最後まで大谷選手の試合結果を楽しむことができたシーズンでした。

その大谷選手の偉業に対して、歌手のGACKTさんがこんなコメントをしています。

「ボクらがこの偉業を見て『ホームランすごい！』といって終わるのはもったいない。」

「彼の考え方や過程を知り、その思想を自分に取り込み、そして実践する必要があると思うのです。」と述べています。

大谷選手に限らず、何かの分野で成功したり、何かを成し遂げたりした人というのは、他の人とは、考え方があったり、努力があったりが違う部分があるはずです。GACKTさんは、そういう面を見習うべきだと言っているわけです。

もちろん大谷選手のすべてを真似したり、見習ったりすることは難しいけれども、みなさんにも、何かしらできることがあるのではないかと思います。

みなさん一人一人、憧れたり尊敬したりしている人がいるはずです。そんな人たちから何か学んで、実践できることがあったら、ぜひやってみませんか。

全校集会後、南部Bブロック新人大会の激励会が行われました。どの部活動もやる気にあふれた決意表明でした。本番は、持てる力を精一杯発揮して、最後まで頑張してほしいと思います。応援よろしくお願ひします。

## 人権コーナー

毎月第一日曜日は、家庭人権学習の日です。資料をもとに各ご家庭で話し合ってみてください。今回は、「第41回全国人権作文コンテスト」で文部科学大臣賞を受賞した神奈川県の中3年生の作品を紹介します。

HPには掲載いたしません。